

令和6年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


社 会 福 祉

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「日本国憲法」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 第11条には、「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、個人が生存している間において保障されるものであり、何人も侵すことのできない権利として、付与される。」とある。
- B 第14条には、「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」とある。
- C 第22条には、「何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。」とある。
- D 第26条には、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる権利を有する。義務教育については、必要経費は補助されるものとする。」とある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問2 次は国際連合が定めた国際年である。A～Eを古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 国際児童年
- B 国際高齢者年
- C 国際障害者年
- D 国際婦人年
- E 国際人権年

(組み合わせ)

- 1 A→E→D→C→B
- 2 B→A→E→C→D
- 3 C→B→A→D→E
- 4 D→C→E→A→B
- 5 E→D→A→C→B

問3 次の文は、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針～こどもまんなか社会を目指すこども家庭庁の創設～」(令和3年12月 閣議決定)に記された、今後のこども政策の基本理念である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

こども政策が行われる際には、(A)が考慮されなければならないことは、言うまでもない。こどもが保護者や社会の支えを受けながら自立した個人として自己を確立していく(B)であることを認識し、(A)を実現する観点から、社会が保護すべきところは保護しつつ、こどもの意見が(C)や発達段階に応じて積極的かつ適切にこども政策に反映されるように取り組む。また、若者の社会参画を促進する。こどもや若者の参画は、政策や取組そのものをより良くするのみならず、(D)に向けた力を自らが持っているとの自己有用感をこどもや若者が持つことができる機会にもなる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	こどもの主張	客体	年齢	国民全体の幸福
2	こどもの最善の利益	主体	年齢	社会課題の解決
3	こどもの最善の利益	対象	能力	国家の繁栄
4	こどもの主張	主体	年齢	社会課題の解決
5	保護者の生活	対象	個性	社会改革

問4 次の【Ⅰ群】の法律名と【Ⅱ群】の法律に関する記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 「児童扶養手当法」
- B 「生活困窮者自立支援法」
- C 「社会福祉法」
- D 「生活保護法」
- E 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」

【Ⅱ群】

- ア この法律により保障される最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準を維持することができるものでなければならない。
- イ この法律による支援は、生活困窮者の尊厳の保持を図りつつ、生活困窮者の就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立の状況その他の状況に応じて、包括的かつ早期に行われなければならない。
- ウ この法律による対策は、社会のあらゆる分野において、子どもの年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、子どもが心身ともに健やかに育成されることを旨として、推進されなければならない。
- エ この法律による手当は、児童の心身の健やかな成長に寄与することを趣旨として支給されるものであって、その支給を受けた者は、これをその趣旨に従って用いなければならない。
- オ 福祉サービスは、個人の尊厳の保持を旨とし、その内容は、福祉サービスの利用者が心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援するものとして、良質かつ適切なものでなければならない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | オ | ウ | イ | エ |
| 2 | ウ | ア | エ | オ | イ |
| 3 | ウ | イ | ア | エ | オ |
| 4 | エ | イ | オ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | イ | ア | オ |

問5 次の文は、社会福祉の法律に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」では、児童とは18歳に満たない者としている。
- B 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」では、被害者の保護だけでなく自立支援についても定めている。
- C 「民生委員法」では、児童委員について定めている。
- D 「社会福祉法」では、社会福祉事業として、第一種社会福祉事業と第二種社会福祉事業を定めている。
- E 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」では、児童とは18歳に満たない者としている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	○	×
4	×	○	○	×	×
5	×	○	×	×	○

問6 次の文は、福祉事務所に関する記述である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

福祉事務所とは、「(A)」第14条に規定されている「福祉に関する事務所」をいい、福祉六法(「生活保護法」、「(B)」、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」、「老人福祉法」、「身体障害者福祉法」及び「知的障害者福祉法」)に定める(C)、育成又は更生の措置に関する事務をつかさどる第一線の社会福祉行政機関である。都道府県及び市(特別区を含む。)は設置が義務付けられており、(D)は任意で設置することができる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	社会福祉法	婦人保護法	保護	区
2	社会福祉法	児童福祉法	援護	町村
3	地方自治法	児童福祉法	援護	郡
4	国家行政組織法	婦人保護法	保護	町村
5	国家行政組織法	児童福祉法	支援	区

問7 次のうち、社会福祉施設とその根拠法の組み合わせとして、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

	【社会福祉施設】	【根拠法】
A	救護施設	「生活保護法」
B	特別養護老人ホーム	「老人福祉法」
C	母子生活支援施設	「母子及び父子並びに寡婦福祉法」
D	障害者支援施設	「知的障害者福祉法」

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問8 次の文は、社会保障制度改革に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるよう留意しつつも、地方公共団体の公助に力を入れていく。
- 2 社会保障の機能の充実のため、税金や社会保険料の負担の増大はやむを得ないとし、持続可能な制度を実現する。
- 3 介護サービスの効率化及び重点化を図るとともに、低所得者をはじめとする国民の保険料に係る負担を増やし、必要な介護サービスを確保する。
- 4 社会保障制度を持続させていくため、少子化対策を総合的かつ着実に実施していく必要がある。
- 5 生活保護を受けている世帯に属する子どもが成人になった後に再び保護を受けることに対し、制限を設ける措置等を検討する。

問9 次の文は、児童福祉に携わる職種に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「教育職員免許法」に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の教諭免許状を有する者であって、都道府県知事が適当と認めたものは、児童指導員の任用要件に該当する。
- 2 保育士は、自立援助ホーム（児童自立生活援助事業）の指導員になることができる。
- 3 児童福祉司の任用条件の一つとして、社会福祉士がある。
- 4 保育士でない者は、保育士又はこれに紛らわしい名称を使用してはならない。
- 5 子育て支援員は「児童福祉法」に規定され、保育士と並んで子育て支援を行う新たな資格として期待されている。

問10 次の文は、「経済財政運営と改革の基本方針2023 加速する新しい資本主義～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～」(令和5年6月 閣議決定)における包摂社会の実現に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 包摂的な共生社会とは、人と人、人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らせる社会である。
- 2 包摂的な共生社会づくりには、動物愛護管理を通じた生命尊重や人の生命・身体等の保全の取組も含まれる。
- 3 生活困窮者や生活保護受給者に対しては、地域に働く場を作ることを第一の目標とする。
- 4 包摂的な共生社会には、性的マイノリティに関する正しい理解や社会全体が多様性を受け入れることも含まれる。
- 5 日常の様々な分野で緩やかなつながりを築ける多様な「居場所」づくりなど孤独・孤立の予防を推進する。

問11 次の文は、保育現場における保育者の相談援助の方法と技術に関する記述である。
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ソーシャルアクションとは、権利擁護や意思尊重を目的に、個人（子どもや保護者）・グループ・地域から聞き取った心情や要望をそのまま伝達したり、保育者が現状から推察した心情や要望を他者に代弁することをいう。
- B プランニングとは、効率的な社会資源の活用による問題解決を図るために、だれが、だれに、何を、いつからいつまで行うのか、期待できる支援の効果を踏まえた支援計画を立案することをいう。
- C アウトリーチとは、支援が必要な状況であるにもかかわらず、それを認識していない、あるいは支援につながっていない子どもや保護者に対して、保育者から支援につなげるための働きかけを行うことをいう。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × |

問12 次の文は、「全国保育士会倫理綱領」の一部である。(A) ~ (E) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

すべての子どもは、豊かな (A) のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性を持っています。

私たちは、子どもが現在 (いま) を幸せに生活し、未来 (あす) を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと (B) をもって、自らの (C) と (D) の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの (E) を支えます。

私たちは、保護者の子育てを支えます。

私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくります。

【語群】

ア	愛情	イ	知識	ウ	環境	エ	人間性	オ	責任
カ	専門性	キ	技術	ク	育ち	ケ	命		

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | エ | キ | ク |
| 2 | ア | オ | エ | カ | ク |
| 3 | ア | オ | カ | キ | ケ |
| 4 | ウ | イ | エ | カ | ク |
| 5 | ウ | オ | カ | キ | ケ |

問13 次の文は、相談援助理論に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「診断主義」は、精神分析学者であるフロイト (Freud, S.) の影響を強く受けたケースワーク理論である。
- B 「機能主義」は、フロイトの弟子であるランク (Rank, O.) の影響を受けたケースワーク理論である。
- C 「問題解決アプローチ」を提唱したのは、パールマン (Perlman, H.) である。
- D 「生活モデル」を提唱したのは、リッチモンド (Richmond, M.) である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問14 次の文は、要保護児童対策地域協議会に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 要保護児童とは、保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適當であると認められる児童をいう。
- B 要保護児童対策地域協議会の意義には、要保護児童等を早期に発見することができる利点がある。
- C 個別の事例について担当者レベルで適時検討する会議を実務者会議という。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	○
5	×	×	×

問15 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(5)「保育所の社会的責任」に照らした記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所は、子どもの権利を十分に配慮するとともに、子ども一人一人の人生を尊重して保育を行わなければならない。
- B 保育所は、地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明するよう努めなければならない。
- C 子どもが権利の主体であるという認識をもって保育に当たらなければならない。
- D 保育所は、入所する子ども等の個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情などに対し、その解決を図るよう努めなければならない。
- E 保育所は、苦情への総合的な対応を通じて、社会的責任を果たしていくという姿勢をもつことが求められる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	×
2	○	×	○	×	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	○	○	○
5	×	○	×	○	×

問16 次の文は、教育・保育における情報公開及び情報提供に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 情報公開は、施設・事業の透明性を高め、教育・保育の質の向上を促していくためである。
- B 特定教育・保育の提供者は、教育・保育の提供を開始しようとするとき、提供する教育・保育に係る情報を提供する施設又は事務所の所在地の市区町村の長に報告することが義務付けられている。
- C 2020年改訂版「保育所における自己評価ガイドライン」(厚生労働省)により、保育内容等の自己評価に関する結果の公表について示されている。
- D 「子ども・子育て支援法」に基づき提供される教育・保育の情報は、公表されなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	×

問17 次の文は、「こども基本法」の第1条である。(A) ～ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、(A)した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の(B)が図られ、将来にわたって(C)な生活を送ることができる社会の実現を目指して、社会全体としてこども施策に取り組むことができるよう、こども施策に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、及びこども施策の基本となる事項を定めるとともに、こども政策推進会議を設置すること等により、こども施策を総合的に推進することを(D)とする。

【語群】

ア	自立	イ	自律	ウ	保障	エ	擁護
オ	豊か	カ	幸福	キ	定義	ク	目的

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | キ |
| 2 | ア | ウ | カ | ク |
| 3 | ア | エ | カ | ク |
| 4 | イ | ウ | カ | ク |
| 5 | イ | エ | オ | キ |

問18 次の文は、障害児及び障害者を取りまく保育・福祉・教育が掲げている理念に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ノーマライゼーション」とは、だれもがその社会でノーマルな生活を営めるようにすべきであるという趣旨であり、障害者を健常者が暮らす「ノーマルな社会」へ戻すことである。
- B 「インクルージョン」とは、障害の有無や社会的な境遇にかかわらず、地域や社会に包み込む方法・理念を指す。
- C 「インテグレーション」は、障害者と健常者という相対的二者の存在を前提としている。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	○
5	×	○	×

問19 次のA～Dは日本におけるこども・子育て政策である。これらを策定された順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「こども大綱」
- B 「エンゼルプラン」
- C 「新子育て安心プラン」
- D 「幼児教育無償化」

(組み合わせ)

- 1 B→C→D→A
- 2 B→D→A→C
- 3 B→D→C→A
- 4 D→B→A→C
- 5 D→B→C→A

問20 次の文は、「子どもの権利条約」（児童の権利に関する条約）に関する記述である。
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「子どもの権利条約」は、子どもが大人と同じように、ひとりの人間としてもつ様々な権利を認めるとともに、成長の過程にあって保護や配慮が必要な、子どもならではの権利も定めている。
- B 「子どもの権利条約」の基本的な考え方は、「差別の禁止」、「子どもの最善の利益」、「生命、生存及び発達に対する権利」、「子どもの意見の尊重」であり、「4つの権利」と呼ばれている。
- C 第12条（日本ユニセフ協会抄訳）には、「子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す義務をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければなりません。」と示されている。
- D 世界各国は、「子どもの権利条約」を締結することで、条約を守ることを表明している。各国がとる条約締結の手続きには、批准、加入、承継がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○